小学校・中学校・高校の先生方・司書・保護者向け

TOEFL Primary® / TOEFL Junior®と、オーセンティック・リーダー/レベルド・リーダーの親和性

(Authentic Readers) (Leveled Readers)

レクサイル指数を活用して、最適な英語リーダーを選んで英語の読解力を高める

スカラスティックジャパンマネージャー　教育コンサルタント 関口 こずえ

1. オーセンティックな英語熟達度テスト(TOEFL Primary® / TOEFL Junior®)と2つのリーダー(オーセンティック・リーダー/レベルド・リーダー) …… p.1
1-1:TOEFL Primary® / TOEFL Junior®の設問設定について …… p.1
1-2:オーセンティックなリーダーの2つの種類/オーセンティック・リーダー …… p.1
1-3:オーセンティックなリーダーの2つの種類/レベルド・リーダー …… p.2
1-4:オーセンティックなリーダーの特徴 …… p.2

2. TOEFL Primary® / TOEFL Junior®と、オーセンティックな2つのリーダーをつなぐレクサイル指数 …… p.3
2-1:オーセンティック・リーダーで理解が深まる、TOEFL Primary® / TOEFL Junior®の設問場面 …… p.3
2-2:TOEFL Primary® / TOEFL Junior®の受験者の読解力レベルと、書籍の難易度をつなぐ、レクサイル指数 …… p.4

3. スカラスティック社について …… p.5
3-1:世界最大の児童書の出版社(Publisher) …… p.5
3-2:世界最大の児童書供給会社(Distributor) …… p.5
3-3:レクサイル指数とスカラスティック社 …… p.5

4. 英語(第2言語)学習者向けに執筆・編集されたELT(English Language Teaching)リーダー/グレイデッド・リーダー(Graded Reader) …… p.5

5. さいごに …… p.6

Danke Sehr

1. オーセンティックな英語熟達度テスト（TOEFL Primary® / TOEFL Junior®）と、2つのリーダー（オーセンティック・リーダー/レベルド・リーダー）

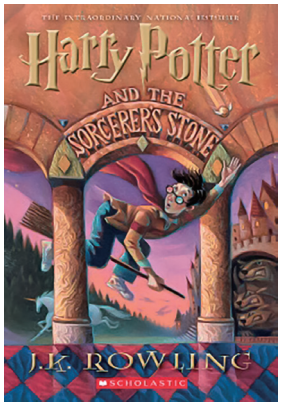
1-1：TOEFL Primary® / TOEFL Junior®の設問設定について

TOEFL Primary® / TOEFL Junior®では、日常のコミュニケーション英語やアカデミック英語の熟達度を判定するため、出題される問題は児童・生徒の学校や家庭の日常生活に基づいた設定が多く取り上げられています。例えば、宿題や課外クラブについて、週末や夏休みの予定について生徒間で話されていたり、また、授業中の先生の指示や質疑応答、朝礼や特別講師の講演など、学校での行事や出来事などの設定も見られます。実際の授業で取り上げられる科学や社会科、歴史、美術などのアカデミックなテーマについてのリーディングやリスニングの問題が出題されることもあります。また、家庭での出来事や家族との会話の例としては、買い物や手伝い、家族の誕生日のプランや特別なイベントの過ごし方など、英語圏（アメリカ）でよく見られる日々の場面が多く登場します。

1-2：オーセンティックなリーダーの2つの種類/オーセンティック・リーダー

オーセンティック（Authentic）なリーダーとは、著者の本来の自然な言語で綴られた物語や説明文です。特にこのレポート内では、英語を母語とする児童・生徒向けに書かれた書籍や図書を指します。文化的背景や私的観点も反映され、文学や情報源としても価値があり、物語や歴史小説、ノンフィクションや解説文など、さまざまなジャンルが含まれます。

オーセンティックなリーダーの中でも大きく分けて2つのグループに分類されます。1つは、いわゆるオーセンティック・リーダーで、書店や公共図書館でも見られる一般読者向けに出版されている娯楽や知識習得を目的とした英語書籍です。世界でベストセラーとなった「ハリー・ポッター」や「はらぺこあおむし」、「ナショナルジオグラフィック・キッズ」などの児童書は、著者が、子どもたちに読書を楽しんでもらいたい、知識を得てもらいたい、という思いで執筆・制作されています。最近では、「グラフィック・ノベル」という日本のマンガと似た新しいジャンルも確立され、子どもたちと本を繋ぐ架け橋となっています。



「ハリーポッターと賢者の石」
レクサイル値：880L
Text copyright©1997
by J.K.Rowling.
All rights reserved.
Published by Scholastic Inc.

「ドッグマン」（グラフィック・ノベル） レクサイル値：GN390L
Copyright©2016 by Dav Pilkey. All rights reserved.
Published by Graphix, an imprint of Scholastic Inc.

1-3：オーセンティックなリーダーの2つの種類/レベルド・リーダー

もう一つはレベルド・リーダーで、教育現場で活用されている学習用書籍です。児童・生徒の発達段階に合わせ、リーディングスキルや学習過程に準じた知識習得を目的として作成されています。教科書と併用して、または、学校の図書館などの学校現場で活用されています。

リーディングスキルの学習に活用されるのが、レベルド・リーダーです。児童・生徒の年齢や生活語彙、知的好奇心のレベル等も考慮し、また、読み書きの中で、使用頻度の高い単語やフォニックスのルールを活用して読める単語、フォニックスのルールに当てはまらない目でみて覚えるサイトワードなど、リーディングの初期段階で学ぶ要素がたくさん含まれています。文章は短く、繰り返しになっているものから、レベルが上がるに連れて、徐々に長くなっていき、複雑な文章になっていきます。単語の意味や読解のヒントとなるような挿絵と文章の関連性なども初期レベルでは多々見られます。

レベルド・リーダーで様々なリーディングスキルを習得し、自立読みができるようになってくると、レベルド・リーダーを“卒業“し、先に述べたオーセンティック・リーダーへ移行していきます。レベルド・リーダーの中には、オーセンティック・リーダーへのスムーズな移行をサポートするため、人気キャラクターが登場するものもあります。（Pete the Cat, The Magic School Bus, Disney、Biscuit等）

代表的なレベルド・リーダー

- Oxford Reading Tree/オックスフォード大学出版局
- Scholastic Readers/スカラスティック社
- I Can Read!/ハーパー・コリンズ
- Step Into Reading/ランダムハウス

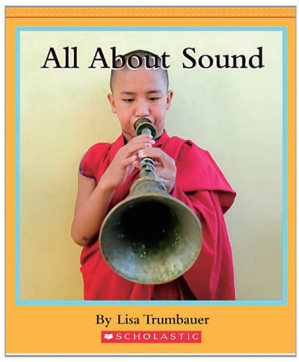
「不機嫌なキリン」
レクサイル値：160L
（Scholastic Reader Level 1）
Copyright © 2023, 2019 by
Hilary Leung. All rights reserved.
Published by Scholastic Inc.

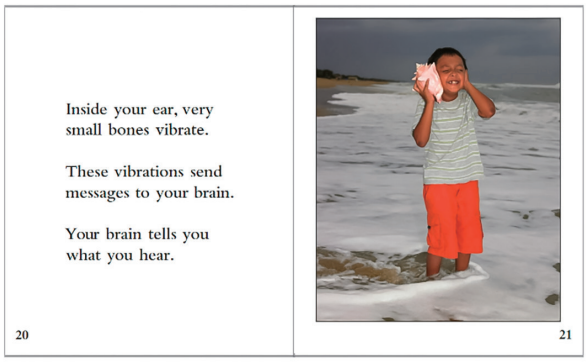
1-4：オーセンティックなリーダーの特徴

オーセンティックなリーダーは、オーセンティック・リーダーもレベルド・リーダーも、英語圏の児童・生徒を対象としているため、選ぶ内容や単語、言い回しなどは、学年や年齢で考慮されます。低学年向けの本でも、過去形や現在進行系などが登場することもありますし、専門用語や難しい綴りや発音の単語なども登場します。子どもたちの知性や知識を豊かにするであろう語彙や表現などは、少しむずかしいものでも必要に応じて取り入れてく、ということもあるかと思います。逆に、難しいと思われるコンセプトがとてもシンプルな単語と言い回しで表現されていることもあります。オーセンティックなリーダーは、第二言語としての英語学習の観点から使用する語彙や文章の構成は制限されていないので、英語学習初心者には少し難しいと感じる場合があるかもしれませんが、実用的で生きた英語表現を学ぶ機会となると思います。

アメリカで小学生向けに出版されている学習用書籍「ルーキー（Rookie）」シリーズは、音や光のような自然現象、動物や植物、昆虫などの生物、環境問題や伝記などのアカデミックなテー

マを取り扱ったノンフィクションのリーダーシリーズです。基礎レベルの比較的やさしい英語で説明されています。日本では、英語多読の現場で中学校や高校でも活用されています。





「音について」
レクサイル値：400L
（訳：耳の中にある小さな骨が振動します。
この振動が脳にメッセージを伝達します。
脳が音を認識してあなたに伝えます。）

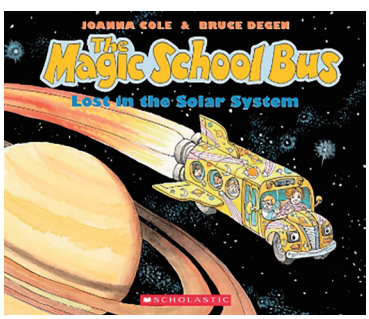
Copyright ©2004 by Scholastic Inc. All rights reserved.

2. TOEFL Primary® / TOEFL Junior®と オーセンティックな2つのリーダーをつなぐ、レクサイル指数

2-1：オーセンティック・リーダーで理解が深まる、TOEFL Primary® / TOEFL Junior®の設問場面

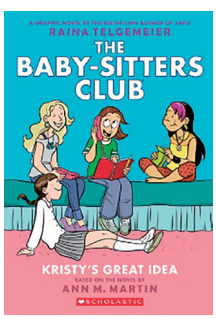
TOEFL Primary®/TOEFL Junior®との親和性で言えば、特にオーセンティック・リーダーでは、英語圏の学校や家庭の日常生活が設定場面となっている本やシリーズはたくさんあり、それらを読むことで、問題に出題されそうなさまざまな設定場面を知ったり、自然なやりとりの会話文に触れる機会が得られます。「マジック・スクール・バス」シリーズは科学のテーマを取り扱った世界のベストセラーシリーズです。クラスの仲間たちのラフな会話や独り言が吹き出しで表示されていたり、逆に、課外授業から学んだことや感想を発表用にフォーマルな文章にまとめたものもイラストや本文の中で登場します。また、宇宙や人体、動物や植物、海や気候などの科学のアカデミックなテーマにもイラストと英語を通して触れることができます。「ベビー・シッターズ・クラブ」はベビーシッターのアルバイトをする中学生の4人のお話です（アメリカでは中学生でもアルバイトができる?!）。アメリカのティーン（10代）の学校での普段の生活の様子、選択する言葉や表現、また、アルバイト事情などを知ることができます。

「星めぐり（フリズル先生のマジック・スクールバス）」
レクサイル値：570L



The Magic School Bus book series
© Joanna Cole and Bruce Degen.
All rights reserved.
Published by Scholastic Inc.

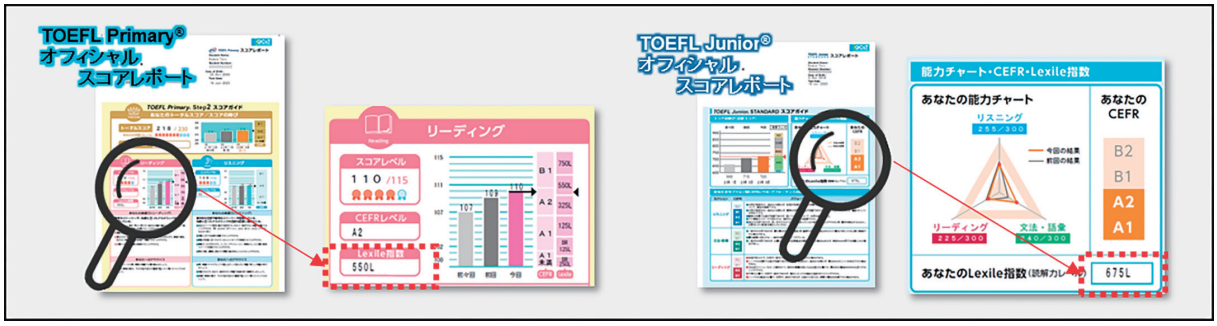
「ベビー・シッターズ・クラブ クリスティのサイコーのアイデア!」
レクサイル値：GN350L



Text copyright
©2006, 2015by Ann M. Martin,
Art copyright
©2006, 2015by Raina Telgemeier ,
All rights reserved.
Published by Graphix,
an imprint of Scholastic Inc.

2-2：TOEFL Primary® / TOEFL Junior®の受験者の読解力レベルと、書籍の難易度をつなぐ、レクサイル指数

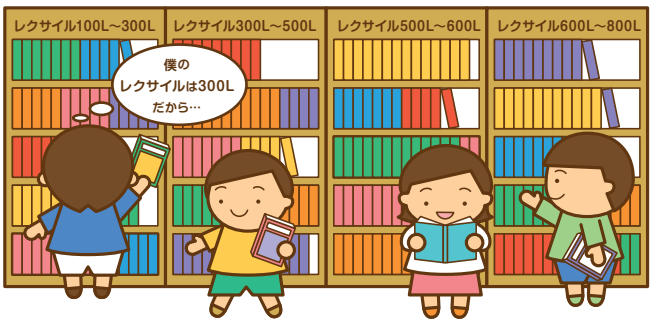
TOEFL Primary®やTOEFL Junior®を受験すると、受験後に渡されるオフィシャルスコアレポートに、「レクサイル（Lexile）指数」という項目があり、そこに数字が記載されています。



これは、アメリカのメタ・メトリックス社がアメリカ国内の3,500万人以上の生徒のデータと独自の英単語のコーパスに基づいて開発した、読む人の「読解力」を数字で表したものです。またレクサイル指数の大きな特徴は、英語の本にも「難易度」をあらわす指標としても使われていることです。つまり、読む人の読解力に合わせた英語の本を選ぶのに役立つ指数です。レクサイル値が200Lと判定された児童・生徒は200L（マイナス100L ～プラス50L）の範囲の本が無理なく読める適切なレベルと提唱されています。

ただし、レクサイル指数は、英語圏の児童・生徒を対象とした指数なので、第二言語学習者の私達日本人にとっては（マイナス100L ～プラス50L）の範囲は少し難しいと思われます。そこで、自分のレクサイル指数から、マイナス200L ～プラス50Lの範囲の本を選ぶことをお勧めしています。大切なことは、日本語を介さずに、英語を英語のままで内容を理解できるレベルからスタートすることです。もし、マイナス200Lのレベルも難しいと感じたら、もう少しやさしいレベルから始めてみることをお勧めします。英語の本を読むことが簡単で楽しい体験となり、そうしたインプットをたくさん増やすことで、読解力向上にも繋がっていくと思います。

参照：メタ・メトリックス社：https://metametricsinc.com/
レクサイル指数：https://lexile.com/



京都教育大学附属京都小中学校の事例

レクサイル別に並べた
オーセンティック・リーダー（約2,000冊）

自分のレクサイルに合った、興味がある
リーダーを本棚から各自でチョイス

英語の授業時間や、空き時間、自宅などで、
自由に読書

3. スカラスティック社について

3-1：世界最大の児童書の出版社（Publisher）

スカラスティック社は、『ハリーポッター』をはじめ『マジックスクールバス』や、おおきいあかい犬の『クリフォード』、写真絵本『アイスパイ』などの大人気シリーズなどの児童書（0歳から18歳）に特化した出版社です。1920年創業以来、長年にわたり、英語圏の子どもたちに、すべての学習の基礎となる読み書きの大切さと読書の楽しみ、そして、学ぶ楽しさを伝えるべく、教育現場に貢献して参りました。現在では、英語圏以外の地域の英語教育発展にも力を注ぎ、学校やご家庭を通して、164カ国を含む世界中の子どもたちに英語の本を提供しています。

3-2：世界最大の児童書供給会社(Distributor)

スカラスティック社の最大の特徴は、自社オリジナルの出版書籍や図書に加え、学校マーケットへの供給に限定し、他の出版社から許諾を得て、多種多様に渡る一般児童書をスカラスティックペーパーバック版として印刷し、学校現場へ供給しているところです。

提携出版社：
HarperCollins, Macmillan Publishers, Simon & Schuster, Puffin Books, Penguin Random House, Candlewick Press,
その他多数。

3-3：レクサイル指数とスカラスティック社

スカラスティック社の特性である、他の出版社からの多種多様にわたる英語一般書籍を学習現場へ提供する上で活用されているのがレクサイル指数です。レクサイル指数は出版社やジャンルの枠を超えて、本の難易度を統一された指標で表すことができます。スカラスティック社は約20年前から、いち早くレクサイル指数を導入し、オーセンティック・リーダー（一般書籍）が教育現場で活用されるようにサポートしています。

4. 英語（第2言語）学習者向けに執筆・編集されたELT（English Language Teaching）リーダー/グレイデッド・リーダー（Graded Reader）

オーセンティックなリーダーが英語を母語とした読者を対象に書かれているのに対して、ELTリーダー /グレイデッド・リーダーは、英語を外国語として学習する学習者向けに書かれています。元は10代から大人を対象として、英語習得の観点から、重要単語や文法習得を目的としています。主要構文、語彙、ページ数等でレベル分けされています。レベルごとに見出し語数（Headwords）が決められており、やさしいものは200語くらいから、高レベルになると、1,000

語程度の単語の知識があれば、無理なく読めるものもあるようです。シェークスピアや有名な英米文学作品など、大人でも楽しめる題材が理解しやすいように簡略化されていたり、やさしい英語で書き直されていたりします。
読解、文法、語彙などの学習項目や目標がすでに設定されているため、それらを文中に盛り込むために、文法的には正確ですが、どこか自然でない文章や場面設定になることがあるかもしれません。また、英語学習という観点からの語彙や文法が重視されるため、知的好奇心を刺激するまでの内容にまで至らないことで、慣れてくると少し物足りなくなることもあるかもしれません。しかし、そのような点を踏まえて、児童対象のものや、サイエンスや社会科学などの内容に特化したものも増えているので、優れたELTリーダーが増えてきていると思います。

代表的なELTリーダー
（グレイデッド・リーダー）
- Oxford Bookwarms/オックスフォード大学出版局
- Cambridge English Readers/ケンブリッジ大学出版局
- Penguin Readers/ピアソン
- Macmillan Readers/マクミランエデュケーション

等。

ELTリーダー / グレイデッド・リーダーは、各出版社独自のレベルシステムを使用しているため、ある出版社では初級レベルの本も他社では中級レベルと同等の難易度と判定されることもあります。この点はヨーロッパで開発された※セファール（CEFR）に準拠するレベルということで同じ指標で比べることがある程度可能となりました。また、オックスフォードやピアソンなどのELTリーダー /グレイデッド・リーダーには、レクサイル指数が記載されているものがあります。TOEFL Primary®/TOEFL Junior®ではテストスコアに対応するセファールもレクサイル値も両方のレベルが提供されています。

※CEFR（Common European Framework of Reference for Languages）は、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のために、透明性が高く、分かりやすい、包括的な基盤を提供するものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会が発表した。

5. さいごに

これまでの英語学習の現場では、ELTリーダー・グレイデッド・リーダーが主となっていました。オーセンティックなリーダーはレベルの判断が難しく、また、日本では、入手しにくいということもあったかと思います。しかしながら、現在では、海外から取り寄せたり、オンラインショップなどを通して、比較的簡単に様々な英語の本が入手できるようになりました。英語のレベルもレクサイル指数やセファールを参考にして判断ができるようになりました。また、テクノロジーの進化により、デジタルリーダーや、アプリなどの音声サポートも充実してきました。

日本語（母語）を習得するように、英語（外国語）の習得にも圧倒的な時間数が必要です。英

語ですべて理解できなくても絵や写真のサポートや想像力で理解を補える年齢のうちに目と耳からのたくさんのインプットができるのが理想ですが、年齢が上がっても、「外国語学習」ということで、英語を英語のまま理解することを目標に、児童向けの絵本や文字の少ないリーダーからスタートすることをお勧めします。

小学校、中学校のまだ時間にすこし余裕があるうち（部活や受験に追われないうち?）に、効率的に学習することだけでなく、遠回りかと思われるかもしれませんが、良質でオーセンティックな英語を時間をかけてたくさんインプットすることで、これまでとは異なる、リアルで実用的な英語が身につく基盤ができるのはないかと思います。

児童・生徒がTOEFL Primary®/TOEFL Junior®を受験して自分のレクサイル指数（読解力指数）を確認し、自分の読解力に合った英語の本をどんどん読み、英語の読解力を高めていける循環環境が構築されると素晴らしいと思います。
また、先生方も児童・生徒のレクサイル指数を把握した上で、子どもたちのレベルに合った本を選択・推薦していただくことが望ましいと思います。生徒の年齢や興味、必要なスキルやレベルも考慮し、さまざまなリーダーを活用することにより、効果的な英語学習ができると思います。

最後に、ハリーポッターの原書（英語版）を読めるようになりたい!という児童・生徒（そして大人も!）にこれまでたくさん出会いました。その夢・目標は実現可能です!

著者紹介

スカラスティックジャパンマネージャー　教育コンサルタント

関口 こずえ

所　　属：スカラスティックジャパン

学　　歴：米国イースタンワシントン大学 BA Education（リーディング指導法専攻/幼児教育副専攻）、MA Education（テクノロジーサポート教育）修了。

その他経歴：米国ワシントン州公立小学校にてリーディング専科教員として勤務。日本ではインターナショナルプリスクールにて2歳から6歳までの子どもたちを指導。現在は、「ハリー・ポッター」で知られる米国出版社スカラスティック社の教育コンサルタントとして教材の提案から英語指導者や保護者向けの研修やワークショップなどを提供。

メッセージ：「本は情報のみならず、感性に触れる美しいイラストやストーリー、古の人々からの知恵と教え、未来を創造する源となる心と頭の栄養となります。人生のエッセンスとなる絵本や書籍との素敵な出会いをサポートいたします。」